

健康製造・販売
4 事業 業者

アガリクス協議会発足

正しい理解と健全な普及めざし

アガリクス(ヒソマツタケ)を健康商材として取り扱う岩田菌学研究所(本社・三重県津市、隅谷利光社長、エス・エス・アイ(本社・東京都中央区、山口宣信社長)協和ウェルネス(本社・東京都中央区、秦敏日社長)ホクトメディアカル(本社・長野市、芦沢広明社長)の四社は八月一日、アガリクス・ブラザー協議会(仮称)を発足、九月下旬をメドに正式に協会を設立する方針だ。事業者や消費者に対する安全性・有効性情報の提供や、アガリクスに係る販売倫理基準等を設定し、同商材の健全な普及を目指す。

同協議会は昨年、アガリクスを使用した健康の広告販売に係る業事法違反事件や、今年二月、厚生労働省による発がんプロモーション作用に関する発表など立て続けに起こったことによる消費者への影響を鑑み、これに対応したもので、主幹事会社は、キノコ類を主成分とする健康の製造・販売を行うホクトメディアカル。事務局は、医薬品・食品素材等の研究開発を行うバイオセラピー開発研究センター(本社・東京都港区、豊田剛史社長)が務める。バイオセラピー開発研究センターは約八年前からアガリクスの研究を実施し

てきた金沢大学発のバイオベンチャー企業。このほかヒト試験や研究試験・分析の受託をメインに行なうティティシー(東京都渋谷区、山本哲郎社長)をアドバイザーとして迎える。主な活動内容は、最終製品の目安摂取量や試験レベル等の基準を設定するほか、関係省庁と連携して販売手法等に問題のあるアウトサイダーと明確な区別を図り、アガリクスを取り巻く環境の整備を図っていく。

今後、九月初旬をメドにアガリクス製品を取り扱う法人会員や、同商材に係る情報収集等を目的とする個人会員を募る。また、九月二十一日〜二十三日に開催するナチュラルEXPOに出展を検討しており、認知向上に努める。このほか、年内までに第一回総会を開催する方針。

アガリクス含有製品を取り扱う取扱各社の対応では、アガリクス(本社・神戸市中央区、大倉社長兼CEO)やクラトン(本社・東京都品川区、加藤雄邦社長)は、「詳細を確認して今後検討していく」としている。一方、アガリクス製品をMLMと卸で展開するアトラスワールド(本社・東京都中央区、内山昭二社長)は、加盟する方向で検討しており、「アガリクスの専門メーカーとして、業界各社と足並みを揃えていく」と回答した。アガリクス含有製品を取り扱うイクソン・ジャパン(本社・東京都中央区、北澤東洋治社長)は、「メイン商材でないことから、加盟する予定はない」としている。

ナ内容は次の通り。
①マネージメント・藤村博之氏(法政大学教授、法政大学ビジネススクール・イノベーション・マネージメント研究科研究科長)②エスアティックとSPA末益藤子氏(ビューティコディネーター)③インターナショナルビューティセラピスト・ビューティ・オオシコ氏(イタリア・シブココ会長)④心と身体ビューティハーモニー(松本正毅氏(同協合理事長))
時間は記念講演会が十三時〜十七時半、記念パーティが十八時から二十時。会場は京王プラザホテル四階・廊下および五階・エミネンスホール。会費は一般が二万二千円、同協会会員が一萬五千円。

「SOKYOパピリオン」
J J F に 山梨県装
山梨県の老舗宝飾品メーカーだが、多様な消費者ニーズ

業界団体

美容会 10月に創立30周年大会 全協 「エステの真髄」 テーマに

有責任仲間法人、日本全身美容協会(事務局、東京都品川区、松本正毅理事長)は十月三日、東京・新サロンに対するニーズに合致した「エステの真髄」について再考し、各サロンの基礎強化のきっかけを作ることを狙いとている。一部に記念講演会、二部に記念パーティが催され

記念講演会では、四人の講師が「お客様を魅するサロンへ」をメインテーマに講演を行う。演者と主